

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

公開講演会
女川原発 審査と「合格」の問題点

日時▶2020年1月18日(土)
13時30分~16時
会場▶仙台市 宮城県民会館 4階会議室401
講師▶岩井 孝氏
主催/原発問題住民運動宮城県連絡センター
連絡先/022-265-2601(宮城県民医連)

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂 田 匠
1日・15日 月2回発行 1部 50円



渚にて
潮風に吹かれて 本を読む女性
日没まで 波乗りするサーファー
渚で無邪気に遊ぶこどもたち
緩やかな時の流れの中で
“平和を守り続けること”の意味を知る

*写真と文 神馬 悟 (宮城県民医連)

健康手帳

年始に合わせて、高校の同級生たちと懇親会を続けて今年で30年になる。いわゆる同窓会だ。なんとなく1年1回続いてきたが、今回数えてみてびっくりした。▼全員揃うこともあるが、最近半分も集まればよいほうで、3人程度のこともあった。仕事も様々でなかなか予定が合わないが、年始に集まれば、「また1年たったなあ」としみじみ実感する。▼最近、ほとんど当時の高校時代の話題で盛り上がる。毎年同じ話をしていくような気がする。▼▼仕事の話になると関心が向けば話題が広がるがたいていは、お互いコアなことをしているからか、突っ込んだ話になることは少ない。▼30代のころまでは政治や哲学の話題などよく激論になったものだが、最近ほとんどそんなことにならない。昔は3次会4次会と繰り返していたが、ここ10年くらいは2次会などすると眠りだす奴も出てきた。お互い相応に年を重ねてきた。▼話に発展性が乏しく、同じ話題を繰り返すことが不毛かというところ。そんなことはない気がする。多分、毎日の忙しい日々を離れて安心したいだけなのかもしれない。つまり、「集まる」ということ自体の意味があるという事なのだろうか。さて今年は何人集うのだろうか。

